

地域が主役「自然との共生社会をめざす」 盛岡シンポジウム

～身近から作るエネルギーの時代～

2014.2月1日 [土]

13:00～16:45 (12:30開場)

岩手県民会館 中ホール

(盛岡市内丸13番1号/JR盛岡駅よりバス15分)

参加無料

石油に依存する日本の現代文明は、東京一極集中、リニアで名古屋まで呑み込む肥大化が進む一方、その内部は非常に病んでいます。脱石油・脱浪費を果たし、自然と共生する社会に移行するカギは、地方の活性と分権、食糧とエネルギーの地域自給です。ここ岩手・東北から、エネルギー自給社会を実践していきましょう！

プログラム

13:00	開会・趣旨説明 鈴木 秀顕氏 もったいない学会理事
13:10	講演1 「東北が主役のエネルギー戦略」 階 猛氏 衆議院議員
13:50	講演2 「東京一極集中から地域分散、自然と共存の日本列島文明」 石井 吉徳氏 もったいない学会会長/東京大学名誉教授
14:40	活動報告 「地域で作るエネルギーの実践と事例」 山口 勝洋氏 環境エネルギー普及(株)/サステナジー(株)代表取締役
15:10	休憩
15:20	パネルディスカッションおよびフロアとのディスカッション 司会 : 鈴木秀顕氏 パネラー : 石井吉徳氏、山口勝洋氏、 田村八洲夫氏(もったいない学会副会長) 冒頭紹介: 鈴木秀顕氏 「エネルギーと食料の自給:足尾プロジェクト」 田村八洲夫氏
16:40	閉会
17:30	懇親会 *有志の方、実費

後援

盛岡信用金庫、サステナジー株式会社
紫波グリーンエネルギー株式会社、
放送大学岩手学習センター

申込・問合せ先

環境エネルギー普及(株)

盛岡市本町通二丁目8番25号

TEL 019-672-6141 FAX 050-3737-2747

E-mail: f.ujiie@kankyo-energy.co.jp (担当:氏家)

もったいない学会: yashima@tea.ocn.ne.jp (田村)

主催:

NPO法人 もったいない学会 mottainaisociety.org

環境エネルギー普及(株) kankyo-energy.co.jp

登壇者プロフィール



階猛氏

衆議院議員(岩手1区)。弁護士。盛岡一高、東京大学法学部卒。高校、大学と野球部に在籍し投手として活躍。日本長期信用銀行(新生銀行)、みずほ証券勤務を経て、2007年衆議院議員初当選。2009～2010年総務大臣政務官。



石井吉徳氏

もったいない学会会長、東京大学名誉教授。東京大学理学部卒業後、帝国石油、石油開発公団等を経て、1971年～1993年まで東京大学工学部教授。元国立環境研究所長。



山口勝洋氏

経営・技術コンサルタントを経て2004年のおひさま進歩エネルギー社の創業(長野県飯田市)以来、備前・盛岡・石巻・気仙沼など地域の省エネ・自然エネ事業主体を5カ所に共同設立。2007おひさまエネルギーファンド創業者。東京大学工学部化学工学科、シカゴ大学院経営学修士。



田村八洲夫氏

もったいない学会副会長。秋田産業サポーターズクラブ幹事。NPO法人あきた地球熱利用事業ネットワーク副理事長。石油開発会社で長年石油探鉱、地熱開発等に従事。



鈴木秀顕氏

もったいない学会理事。日本感性工学会評議員。東北大学大学院。大学卒業後、商社、外資系企業等を経て大学で情報・経済について教鞭。専門は情報文化学、地域経済、サービスマーケティング。

1日の宿舎のご案内

2日の視察会に参加の方に、紫波町ラ・フランス温泉館は満室のようです。盛岡市内のホテルをお勧めします。翌朝、視察会場に案内します。

2月2日(日) 視察会

9:00～10:15 紫波町:ラ・フランス温泉館視察

(廃熱回収ヒートポンプ、太陽熱温水、太陽光発電、木質チップボイラー)

10:15～11:45 紫波町:オガールプラザ、オガール地区視察

NPO法人 もったいない学会

正式名称は、「石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会」。エネルギーと文明の関係を正しく理解し、石油ピーク後の社会を皆で考え抜いていくことを目的とし、2006年8月に発足、翌年東京都の法人となる。

環境エネルギー普及株式会社

岩手地域にて、中小規模の省エネルギー・再生可能エネルギーを導入・運用する、地域のエネルギーサービス事業主体。この分野に合った設計・金融・サービスモデル等により、経済的に回る地域エネルギーを実現。盛岡信用金庫、アトム環境工学、サステナジー代表者らの出資による共同事業。